

農薬登録適用拡大内容のご案内

1. 農薬登録番号及び名称 第12956号 ヨネポン
2. 農薬登録適用拡大取得年月日：平成25年10月23日付
3. 適用病害虫の範囲又は使用方法の変更内容

農薬登録申請書第7項の内容が以下のとおり登録拡大になりました。

(変更事項)

1. 作物名「ばれいしょ(そうか病)」における希釈倍数及び使用方法について、変更になりました。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ノルフェノール スルホン酸銅を 含む農薬の 総使用回数
ばれいしょ	そうか病	25倍	種いも 1kg 当り 15~30ml	植付前	1回	種いも 吹き付け 処理	5回以内 (種いもへの処 理は1回以内、 散布は4回以 内)

3. 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生じるときは、
その旨及び内容

農薬登録申請書第8項「使用上の注意事項」の(2)を変更し、(6)を追加し、現行(6)以降を順次繰り上げ、別紙2のとおりとする。

(変更前)

(2) 石灰硫黄合剤、マシン油乳剤、ジネブ剤、ジチオカーバメート系薬剤との混用は避けること。

(変更後)

(2) 石灰硫黄合剤、マシン油乳剤、ジチオカーバメート系薬剤との混用は避けること。

(追加)

(6) ばれいしょの種いも消毒に使用する場合、萌芽後や種いも切断後の処理は薬害を生じるおそれがあるので、萌芽前に種いもを切断せずに処理すること。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ニルフェノールスホン酸銅を含む農薬の総使用回数	
稲	もみ枯細菌病	20倍	—	浸種前	1回	10分間 浸漬	1回	
	褐条病 苗立枯細菌病	20~30倍						
	ばか苗病 いもち病 ごま葉枯病	20倍						
	もみ枯細菌病	50~200倍	—			24時間 浸漬		
	褐条病 苗立枯細菌病	100倍						
	ばか苗病 いもち病	50倍						
	ごま葉枯病	50~100倍						
	もみ枯細菌病 褐条病 ばか苗病 苗立枯細菌病	7.5倍	乾燥種粃 1kg当り 30~60ml			種子吹き 付け処理 (種子消毒 機使用)		
いもち病 ごま葉枯病	乾燥種粃 1kg当り 60ml							
<u>ばれいしょ</u>	<u>そうか病</u>	50~100倍	—	植付前	1回	10秒間 種いも浸漬	<u>5回以内</u> (種いもへの処 理は1回以内、 散布は4回以内)	
		<u>25倍</u>	<u>種いも 1kg 当り 15~30ml</u>			<u>種いも 吹き付け 処理</u>		
やまのいも	青かび病	50倍	—			瞬間~10分間 種いも浸漬		1回
メロン	うどんこ病 べと病	500倍	100~3000/ 10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内	
きゅうり	斑点細菌病	500~800倍		収穫前日まで				
パセリ	うどんこ病 斑点病 軟腐病 アブラムシ類	700倍		収穫14日前 まで	3回以内			3回以内
こんにゃく	腐敗病 葉枯病	500倍		収穫30日前 まで	7回以内			7回以内
桑	枝軟腐病 縮葉細菌病			100~2000/ 10a	収穫直後 —			5回以内
ぶどう	晩腐病 黒とう病	100倍		200~7000/ 10a	萌芽前			1回
ばら	うどんこ病	500倍	100~3000/ 10a	—	6回以内	6回以内		

※今回 の箇所は追加又は変更となった内容です。

8. 使用上の注意事項

- (1) 散布液調製後はなるべく早く使用すること。
- (2) 石灰硫黄合剤、マシン油乳剤、ジチオカーバメート系薬剤との混用は避けること。
- (3) 夏期高温時には葉害を生ずる恐れがあるので使用を避けること。
- (4) きゅうりに使用する場合は次の事項に注意すること。
 - ①高温時の散布は葉害が激しいので避けること。
 - ②連続散布すると葉の周辺が黄化したり硬化したりすることがあるので過度の連用は避けること。
- (5) 稲に使用する場合次の事項に注意すること。
 - ①種子消毒は浸種前に行なうこと。
 - ②発芽不揃い等の葉害を生ずる恐れがあるので消毒した種籾は乾燥せずに浸種すること。
 - ③浸種処理の場合、籾と処理薬液の容量比は1 : 1以上とし、種籾はサラン網など粗目の袋を用い、薬液処理時によくゆすること。
 - ④吹き付け処理の場合は種子消毒機を使用し、種籾に均一に付着させて乾燥すること。
 - ⑤本剤の処理を行なった種籾を浸種する場合は、次の事項を守ること。
 - 1) 浴比は1 : 2とし、停滞水中で浸種すること。
 - 2) 水の交換は原則として行なわないこと。但し、水温が高い場合など酸素不足になる恐れがあるときは静かに換水すること。
 - 3) 河川、湖沼、ため池などでは浸種しないこと。
 - ⑥本剤の処理により、初期生育遅延を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。
- (6) ばれいしょの種いも消毒に使用する場合、萌芽後や種いも切断後の処理は葉害を生じるおそれがあるので、萌芽前に種いもを切断せずに処理すること。
- (7) 桑に散布した場合は3日以上経過してから蚕に給葉すること。
- (8) 本剤の使用に当たっては使用量、使用時間、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

関係各位

この度下記内容にて農薬登録適用拡大になりました。

この用紙をコピーして頂き、製品と一緒に添え付けて販売して頂けます様、宜しくお願ひ申し上げます。

表示変更ラベル

農林水産省登録 第 12956 号

殺菌・殺虫剤
ヨネボン(乳剤)
ノニルフェノールスルホン酸銅乳剤

平成 25 年 10 月 23 日付で以下の作物の適用内容、希釈濃度、使用液量・方法等が変更になりました。
(下表参照：下線部が変更)

作物名	適用 病虫害名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ノニルフェノール スルホン酸銅を 含む農薬の 総使用回数
<u>ばれいしょ</u>	そうか病	<u>25倍</u>	<u>種いも 1kg 当り 15~30 ml</u>	植付前	1 回	<u>種いも 吹き付け 処理</u>	<u>5回以内 (種いもへの処理 は1回以内、散布 は4回以内)</u>

※ばれいしょの種いも消毒に使用する場合、萌芽後や種いも切断後の処理は薬害を生じるおそれがあるので、萌芽前に種いもを切断せずに処理すること。

使用上の注意事項などについては、製品に貼付されているラベルを参照のこと。

米澤化学株式会社

表示変更ラベル

農林水産省登録 第 12956 号

殺菌・殺虫剤
ヨネボン(乳剤)
ノニルフェノールスルホン酸銅乳剤

平成 25 年 10 月 23 日付で以下の作物の適用内容、希釈濃度、使用液量・方法等が変更になりました。
(下表参照：下線部が変更)

作物名	適用 病虫害名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ノニルフェノール スルホン酸銅を 含む農薬の 総使用回数
<u>ばれいしょ</u>	そうか病	<u>25倍</u>	<u>種いも 1kg 当り 15~30 ml</u>	植付前	1 回	<u>種いも 吹き付け 処理</u>	<u>5回以内 (種いもへの処理 は1回以内、散布 は4回以内)</u>

※ばれいしょの種いも消毒に使用する場合、萌芽後や種いも切断後の処理は薬害を生じるおそれがあるので、萌芽前に種いもを切断せずに処理すること。

使用上の注意事項などについては、製品に貼付されているラベルを参照のこと。

米澤化学株式会社